



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月30日

上場会社名 株式会社アンドエスティHD

上場取引所

東

コード番号 2685

URL <https://www.andst-hd.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）福田 泰生

問合せ先責任者（役職名）取締役経営企画本部長

（氏名）林 正武

（TEL）03-5466-2060

半期報告書提出予定日 2026年10月15日

配当支払開始予定日

2026年10月22日

決算補足説明資料作成の有無

：有

決算説明会開催の有無

：有

（投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	152,110	1.9	10,731	34.6	11,066	42.0	5,951	△0.6
2026年2月期中間期	149,345	3.6	7,973	△19.4	7,790	△24.3	5,987	△13.7

（注）包括利益 2027年2月期中間期 5,880百万円（△2.0％） 2026年2月期中間期 6,002百万円（△15.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	128.83	—
2026年2月期中間期	129.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期中間期	138,315	86,221	62.1
2026年2月期	139,688	81,823	58.3

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 85,834百万円 2026年2月期 81,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年2月期	—	45.00			
2027年2月期（予想）			—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	314,000	3.2	17,200	4.1	17,200	2.2	10,500	10.5	227.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)株式会社シックスティパーセント、除外 —社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期中間期	48,800,000株	2026年2月期	48,800,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	2,475,712株	2026年2月期	2,672,130株
③ 期中平均株式数(中間期)	2027年2月期中間期	46,197,485株	2026年2月期中間期	46,155,523株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(中間連結貸借対照表関係)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13
(1) ブランド・地域別売上高の状況	13
(2) 商品部門別売上高の状況	13
(3) 店舗出退店等の状況	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績

	2026年2月期 中間連結会計期間 (2025年3月1日から 2025年8月31日まで)	2027年2月期 中間連結会計期間 (2026年3月1日から 2026年8月31日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	149,345	152,110	2,765	1.9%
営業利益 (百万円)	7,973	10,731	2,758	34.6%
経常利益 (百万円)	7,790	11,066	3,275	42.0%
親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	5,987	5,951	△36	△0.6%

当中間連結会計期間においては、雇用・所得環境の改善を背景に、国内の景気と個人消費は緩やかな回復基調が続きました。一方で、継続する円安やコスト高に加え、物価高の長期化や金利の上昇に伴い、消費者の節約志向や価格感度は一段と高まりました。また、中東情勢や為替市場の変動等により、世界経済の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは「中期経営計画2030」に基づき、自社EC「and ST」を中心としたグループ間シナジーの創出と外部パートナーとの連携を強化し、「Play fashion!プラットフォーム」への進化を目指して、取り組みを進めてまいりました。中期経営計画における重点分野の戦略は、下記の通りです。

プラットフォーム	and ST会員基盤のつながりを最大限に活かし、「and ST」をモール&メディアに育てて外部企業による出店を獲得し、カテゴリー拡大などを通じてID(顧客基盤)とLTV(顧客生涯価値)の双方を拡大することで、流通総額1,000億円を目指します。同時にユーザーサービスの拡充やBtoB向けプロデュース事業により、収益率の向上を図ります。
グローバル	人口と経済の高成長が見込まれる東南アジアを次の柱として投資を加速し、リアル店舗の出店と展開地域の拡大を進めます。グレーターチャイナでは、マルチブランド戦略を強化し安定成長を図ります。
ブランドリテール	グループ各社がそれぞれのミッションに応じた戦略策定・事業運営を行うマルチカンパニー体制により、ブランドポートフォリオ経営を強化します。グループの中核である株式会社アダストリアでは、成長余地の大きい注力ブランドへの投資を進め、都市部への出店強化や店舗の大型化により収益性の向上を図ります。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高が1,521億10百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益が107億31百万円(前年同期比34.6%増)、経常利益が110億66百万円(前年同期比42.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益が59億51百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

国内売上高につきまして、アパレル・雑貨関連事業は、カジュアルファッション需要が底堅く推移しました。トレンドを捉えた商品の機動的な展開や、マルチブランド・マルチカンパニー戦略による多様な商品展開、TVCMやポイント還元などのプロモーション施策が功を奏し、前年同期比3.2%の増収となりました。M&Aによって2025年4月からグループに加わった、カリマーインターナショナル株式会社の純増も寄与しました。

またプラットフォーム戦略のもと、「and ST」とリアル店舗で連動したプロモーション施策や、人気キャラクターや人気スタッフとのコラボ商品の展開に加え、外部企業に「and ST」へ出店いただくモール型ビジネスの拡大を進めました。こうした取り組みにより、ECとリアル店舗の共通ポイント制度であるand ST会員数は前期末比100万人増の2,270万人、アクティブ会員数は810万人となり、取り扱いブランド数・流通総額も伸長しました。

海外売上高(円換算)につきまして、中国大陸では不動産不況を背景に内需低迷や消費の足踏みが続くなか、コストを抑えた標準型店舗の出店とECとのクロスチャネル戦略が堅調に推移し、前年同期比24.2%の増収となりました。香港と台湾ではマルチブランド戦略による新規出店とECが引き続き好調に推移し、それぞれ16.2%、22.5%の増収となりました。東南アジアも出店により増収しましたが、2025年7月に米国事業から撤退した影響により、海外事業全体では11.4%の減収となりました。

その他(飲食事業)の売上高につきましては、外食産業における原材料価格や光熱費の上昇に加え、人件費等のコスト高により厳しい経営環境が継続しましたが、国内事業の堅調な推移により1.1%の増収となりました。

収益面につきましては、円安の進行や製造コストの上昇による原価押し上げ影響が続くなか、「適時・適価・適量」の商品提供による在庫コントロールと値引き販売の抑制に努めました。生産背景の見直しや、春夏物衣料の正価販売が好調に推移したことが利益率の回復を牽引し、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は前年同期から改善しました。その他(飲食事業)においては、価格の見直しや原価低減により原価高騰を吸収して売上総利益率はほぼ横ばいで推移し、連結での売上総利益率は56.5%となり、前年同期比1.3ポイント改善しました。

販売費及び一般管理費につきましては、従業員の処遇改善による人件費の増加や売上高の伸長による店舗家賃の増加で総額は増えたものの、プロモーションの効率化などにより、販管費率は49.5%と前年同期比0.3ポイント改善しました。

以上の結果、営業利益率は前年同期比1.8ポイント改善し7.1%となり、営業利益は前年同期比34.6%の増益となりました。

また、為替差益2億16百万円等を営業外収益に、特別功労金12億30百万円、店舗の減損損失1億29百万円等を特別損失に計上しました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

①アパレル・雑貨関連事業

売上高は1,441億92百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は111億10百万円(前年同期比42.9%増)となりました。

店舗展開につきましては、39店舗の出店(内、海外10店舗)、22店舗の退店(内、海外2店舗)の結果、当中間連結会計期間末における店舗数は、1,618店舗(内、海外165店舗)となりました。

②その他(飲食事業)

その他(飲食事業)につきましては、売上高は80億42百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント損失は43百万円(前年同期はセグメント利益13百万円)となりました。

店舗展開につきましては、3店舗の出店、2店舗の退店の結果、当中間連結会計期間末における店舗数は、74店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、13億72百万円減少して1,383億15百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が17億31百万円増加した一方で、棚卸資産が11億6百万円、その他(未収入金など)が23億95百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、57億69百万円減少して520億94百万円となりました。これは主に、電子記録債務が30億67百万円、未払法人税等が20億43百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、43億97百万円増加して862億21百万円となりました。これは主に、利益剰余金が38億45百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて、51百万円増加して248億72百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、86億35百万円（前年同期は100億19百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少が26億91百万円、法人税等の支払額が44億72百万円それぞれあった一方で、税金等調整前中間純利益が97億70百万円、減価償却費が61億76百万円それぞれあったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、55億96百万円（前年同期は88億89百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が33億54百万円、無形固定資産の取得による支出が16億5百万円それぞれあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、31億87百万円（前年同期は3億87百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額が20億95百万円、リース債務の返済による支出が11億1百万円それぞれあったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,912	24,990
受取手形及び売掛金	15,971	17,703
棚卸資産	30,526	29,419
その他	6,314	3,918
貸倒引当金	△80	△85
流動資産合計	77,644	75,946
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	8,543	8,321
その他(純額)	16,184	16,763
有形固定資産合計	24,727	25,085
無形固定資産		
のれん	566	1,175
その他	12,013	11,686
無形固定資産合計	12,579	12,862
投資その他の資産		
投資有価証券	463	443
敷金及び保証金	14,134	14,029
その他	10,469	10,301
貸倒引当金	△331	△353
投資その他の資産合計	24,736	24,421
固定資産合計	62,043	62,368
資産合計	139,688	138,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,773	14,196
電子記録債務	8,690	5,623
1年内返済予定の長期借入金	—	37
未払金	15,052	14,120
未払法人税等	5,508	3,464
賞与引当金	2,551	3,074
ポイント引当金	155	110
その他の引当金	238	189
その他	4,369	4,783
流動負債合計	50,340	45,599
固定負債		
長期借入金	—	92
引当金	745	234
その他	6,778	6,168
固定負債合計	7,523	6,494
負債合計	57,864	52,094

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	6,262	6,262
利益剰余金	76,800	80,646
自己株式	△6,098	△5,486
株主資本合計	79,624	84,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	53
繰延ヘッジ損益	177	33
為替換算調整勘定	1,577	1,665
その他の包括利益累計額合計	1,819	1,751
非支配株主持分	379	387
純資産合計	81,823	86,221
負債純資産合計	139,688	138,315

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	149,345	152,110
売上原価	66,972	66,113
売上総利益	82,372	85,996
販売費及び一般管理費	74,399	75,265
営業利益	7,973	10,731
営業外収益		
為替差益	—	216
その他	270	296
営業外収益合計	270	512
営業外費用		
支払利息	147	128
為替差損	234	—
その他	70	49
営業外費用合計	453	177
経常利益	7,790	11,066
特別利益		
固定資産売却益	—	132
特別利益合計	—	132
特別損失		
減損損失	142	129
災害による損失	—	67
特別功労金	—	1,230
特別損失合計	142	1,427
税金等調整前中間純利益	7,648	9,770
法人税、住民税及び事業税	2,107	3,578
法人税等調整額	△431	243
法人税等合計	1,675	3,821
中間純利益	5,972	5,949
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△14	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	5,987	5,951

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	5,972	5,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△12
繰延ヘッジ損益	194	△144
為替換算調整勘定	△187	87
その他の包括利益合計	30	△68
中間包括利益	6,002	5,880
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,023	5,883
非支配株主に係る中間包括利益	△20	△2

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,648	9,770
減価償却費	5,997	6,176
減損損失	142	129
災害損失	—	67
のれん償却額	216	90
受取利息及び受取配当金	△49	△81
支払利息	147	128
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	197	517
ポイント引当金の増減額(△は減少)	11	△44
固定資産売却損益(△は益)	—	△132
売上債権の増減額(△は増加)	△2,432	△1,631
棚卸資産の増減額(△は増加)	463	1,164
仕入債務の増減額(△は減少)	1,010	△2,691
未払金の増減額(△は減少)	△494	△525
未払消費税等の増減額(△は減少)	21	△349
その他	△79	557
小計	12,824	13,163
利息及び配当金の受取額	39	72
利息の支払額	△147	△128
法人税等の支払額	△2,697	△4,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,019	8,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,079	△3,354
無形固定資産の取得による支出	△2,956	△1,605
無形固定資産の売却による収入	—	161
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	10	—
敷金及び保証金の差入による支出	△610	△447
敷金及び保証金の回収による収入	697	290
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△334	△578
その他	384	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,889	△5,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	4,500	—
長期借入金の返済による支出	△11	—
配当金の支払額	△2,572	△2,095
自己株式の取得による支出	△635	△0
リース債務の返済による支出	△893	△1,101
その他	—	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	387	△3,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230	200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,287	51
現金及び現金同等物の期首残高	21,081	24,820
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,368	24,872

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

株式会社シックスティパーセントは2026年6月30日の株式取得に伴い、当中間連結会計期間より連結子会社となりました。

(中間連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社の連結子会社であるZETTON, INC. (米国)は、2021年3月に制定された、米国救済計画法(American Rescue Plan Act of 2021)に基づくレストラン活性化基金(Restaurant Revitalization Fund: RRF)設立に伴い2021年5月に受給した820万米ドルに関して、米国中小企業庁(The U.S. Small Business Administration)より、受給資格の正当性について調査を受けております。

当社グループは、受給資格の正当性について、引き続き当局に対して説明を続けていくものの、今後の進捗によっては当社グループの業績に影響を与える可能性があります、現時点において当社グループの業績への影響を見積もることは困難であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	141,425	7,919	149,345	—	149,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	38	39	△39	—
計	141,425	7,958	149,384	△39	149,345
セグメント利益	7,776	13	7,790	—	7,790

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	144,103	8,007	152,110	—	152,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	35	123	△123	—
計	144,192	8,042	152,234	△123	152,110
セグメント利益又は 損失(△)	11,110	△43	11,066	—	11,066

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益又は損失には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域		当中間連結会計期間		前年同期比増減率 (%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
	グローバルワーク	26,124	17.2	0.1
	ニコアンド	19,348	12.7	8.8
	ローリーズファーム	13,105	8.6	8.1
	スタディオクリップ	12,819	8.4	5.3
	レブシム	9,915	6.5	13.7
	ラコレ	7,566	5.0	3.9
	ジーナシス	5,433	3.6	△0.5
	ベイフロー	5,331	3.5	△3.8
	その他	18,769	12.3	△0.9
株式会社アダストリア 計		118,416	77.8	3.8
株式会社BUZZWIT		5,437	3.6	△2.0
株式会社エレメントルール		6,500	4.3	△4.3
その他連結子会社		2,735	1.8	7.8
国内合計		133,089	87.5	3.2
	中国大陸	2,774	1.8	24.2
	香港	2,640	1.7	16.2
	台湾	5,219	3.4	22.5
	タイ	303	0.2	42.3
	フィリピン	76	0.1	13.4
海外合計(注) 3		11,014	7.2	△11.4
アパレル・雑貨関連事業合計		144,103	94.7	1.9
株式会社ゼットン(注) 4		8,007	5.3	1.1
その他(飲食事業)合計		8,007	5.3	1.1
グループ合計		152,110	100.0	1.9

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。
3. アパレル・雑貨関連事業における海外合計の前年同期比増減率は、2025年7月に出資持分の譲渡が完了した Velvet, LLCの前年同期の売上高を含めて集計しております。
4. 株式会社ゼットンの売上高は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。

(2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当中間連結会計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	22,892	15.0	△1.6
レディース(ボトムス・トップス)	87,689	57.6	0.2
雑貨・その他	41,528	27.4	7.8
合計	152,110	100.0	1.9

- (注) 1. 雑貨・その他は、契約負債の計上額やポイント引当金繰入額等が含まれております。
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

(3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域		店 舗 数					
		前連結 会計年度末	当中間連結会計期間				当中間 連結会計期間末
			出 店	変 更	退 店	増 減	
	グローバルワーク	226	4	—	—	4	230
	ニコアンド	147	2	—	—	2	149
	ローリーズファーム	128	3	—	—	3	131
	スタディオクリップ	188	2	—	△1	1	189
	レプシム	119	2	—	△1	1	120
	ラコレ	100	2	—	—	2	102
	ジーナシス	68	1	—	△5	△4	64
	ペイフロー	64	1	—	△1	—	64
	その他	283	2	—	△11	△9	274
株式会社アダストリア 計		1,323	19	—	△19	—	1,323
株式会社BUZZWIT		28	4	—	—	4	32
株式会社エレメントルール		81	2	—	△1	1	82
その他連結子会社		12	4	—	—	4	16
国内合計		1,444	29	—	△20	9	1,453
	中国大陸	18	3	—	△1	2	20
	香港	32	1	—	—	1	33
	台湾	98	5	—	△1	4	102
	タイ	6	1	—	—	1	7
	フィリピン	3	—	—	—	—	3
海外合計		157	10	—	△2	8	165
アパレル・雑貨関連事業合計		1,601	39	—	△22	17	1,618
株式会社ゼットン(注) 3		73	3	—	△2	1	74
その他(飲食事業) 合計		73	3	—	△2	1	74
グループ合計		1,674	42	—	△24	18	1,692

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 株式会社ゼットンの店舗数は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。